



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校
校長 大槻 亨
令和2年7月29日
7月号

「失われたものを数えるな。残っているものを最大限に生かせ。」

校長 大槻 亨

学校が再開され、2か月が経とうとしています。部活動は23日から第4段階を迎え、公式試合が可能となりました。学校生活はかつての日常には戻れませんが、新たな日常を確立しつつあります。何よりも生徒たちが元気に活動する雰囲気が校舎内に溢れており、本当にうれしく思っています。

その一方で、東京の感染者数は、連続して200名を超え過去最多を更新するなど、決して油断できない状況が続いています。学校では引き続き、次の3つの視点をもって指導を継続していきます。①「自分の体の様子を知ること」(毎日健康カードに記入し健康観察をすること)②「体にウイルスを入れないようにすること」(「密閉」「密集」「密接」という「3つの密」を避け、手洗いやマスクの着用、咳エチケットを守り、適度に換気をすること)③「自身の体を健康に保つこと」(バランスのとれた食事や適度な運動、規則正しい生活をする)特に③については、ご家庭のご協力が重要となります。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

さて、6月29日に修学旅行をはじめとした宿泊行事の中止についてお知らせをいたしました。残念に思った生徒は多くいたことと思います。今回の新型コロナウイルス感染拡大によって、大切な時間や活動が失われたと感じる生徒は、少なくないことでしょう。そこで私は、7月の全校朝礼で、表題に掲げた「失われたものを数えるな。残っているものを最大限に生かせ。」という言葉を紹介しました。

この言葉は、世界で初めて障害者による競技大会を主催し、「障害者スポーツの父」「パラリンピックの父」と呼ばれるユダヤ系ドイツ人の医師ルードヴィッヒ・グットマン博士の言葉です。

パラリンピックの始まりは、今から72年前、イギリスのロンドン郊外のストーク・マンデビル病院の中で開かれたアーチェリーの競技会でした。これは、第二次世界大戦が終了した3年後のことで、ルードヴィッヒ・グットマン博士が中心となって開催をしたのです。第2次世界大戦で主に脊髄を損傷して、車いすの生活をしていた元兵士たちの、リハビリの一環として行った大会でした。脊髄を損傷しているわけですから、足が動かなくなってしまっています。その元兵士たちに贈った言葉が、「失われたものを数えるな。残っているものを最大限に生かせ。」だったのです。少しでも機能を回復させるため、また失ったものではなく残った機能をできる限り生かすために、スポーツがもたらす効果は非常に大きいと、グットマン博士は確信していました。そういうグットマン博士自身もナチスドイツのユダヤ人への迫害からイギリスに逃れてきた一人でした。彼自身、自分の故郷を追われ、友人を失い、多くのものを失ってしまったのです。グットマン博士の言葉は、自分自身に向けたものであったかもしれません。

コロナ禍により、失ったものは大きいと感じる人もいます。しかし、グットマン博士の言葉を借りれば、失ったものを悔やむよりも、残された環境の中で、できることは何かを考え、今を最大限に生かしていくことが大切ではないかと思うのです。間もなく夏休みです。短い休みとなりますが、残された時間を大切にして、目標をもって精いっぱい頑張りたいと思います。保護者の皆様におかれましては、子供たちへの励ましとご支援をお願いいたします。

【お知らせ】

「長期休業中の電話対応について」

長期休業中は、平日午後4時45分から翌朝(金曜日の場合は翌週)8時15分まで「応答メッセージ機能」による電話対応とさせていただきます。ご不便をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。

なお、生徒に関わる緊急事態が発生した場合や継続対応が必要な場合は、「応答メッセージ機能」を起動させないことがあります。

離任された皆さんから

「お世話になりました」

初任から8年間谷原中でお世話になりました長尾崇弘です。8年もの間共に過ごさせていただいた職員・保護者・地域の皆様、そして卒業生・生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

谷原中学校で教員生活をスタートし、そこから成長させてもらったことに感謝の気持ちと充実感でいっぱいです。本来なら直接感謝申し上げたいところではありますが、この状況下で直接お礼が伝えられず申し訳ありません。また、保護者・地域の皆様にも温かい目で見守っていただきました。ありがとうございました。谷原中での様々な行事・部活動・「ねりまつり」の手伝いなど、なつかしく感じます。

卒業生の皆さん、楽しかった日々をありがとう。3月に多くの卒業生が訪ねてきてくれました。最後に会うことができ本当に幸せでした。そして、在校生、特にバスケットボール部の皆さん、最後まで一緒に活動できずごめんなさい。しかし、このような状況下に負けず、精一杯努力している姿が想像できます。まだ「これから」なので常に上を向いて前に進みましょう。

多くの方々に支えられた谷原中生活でした。私も新しい環境で頑張ります。ありがとうございました。

東久留米市立大門中学校
社会科 長尾 崇弘

谷原中のみなさん、こんにちは。(1年生のみなさん、はじめまして)
新型コロナウイルスでいろいろなことが思い通りに行かず、つらい思いをしているかもしれませんね。これまで一人一人みんな我慢をして頑張ってきました。そんなみなさんを私は心から立派だと思えます。学校が再開し、うまくスタートがきれましたか？これまで保健室からみなさんを応援してきた私は、みなさんの中に“よしやるぞ”と思えず立ち止まったままの人がいないか、とても気になります。

新型コロナウイルス感染症はもとより先が見えない不安がみんなにあると思います。その不安は子どもも大人も変わりません。私も胸がドキドキするくらい急に不安になることがあります。そんな時は、まず「大丈夫」と自分に言い聞かせ、そしてあまり先を見ないで今日やることを自分で決め、確実に実行するようにしています。そして、必ず「今日も自分頑張ったね」と自分自身をほめるようにしています。

谷原中学校のみなさん、今まで当たり前前にできていたことができない日々がまだまだ続きそうです。どうぞ自分の未来を悲観しないで、今自分ができるところを一つ一つ積み重ねていきましょう。“きっと大丈夫！”そう信じて私も皆さんと一緒に頑張っていきます。

大泉中の保健室からみなさんを応援していますね。

練馬区立大泉中学校
主任養護教諭 佐伯 登美子

谷原中学校では5年間お世話になりました。
生徒のみなさん、先生方、新型コロナウイルス対応大変だと思いますが、
お互いがんばりましょう。
5年間ありがとうございました。



練馬区立石神井南中学校
事務 小倉 貴子

「谷原中学校の皆さんへ」

私は今、練馬区立南が丘中学校で2年生の学年を担当しています。今年も担任しているクラスは2年B組！です。

谷原中でもそうだったろうと思いますが、始業式は短く生徒と接することができたのはほんの少しでした。課題配布日も同じような感じでしたので、心と頭に浮かぶのは谷原中の生徒たちのことばかりでした。

「遅刻せずに学校に行っているかな。」「課題はちゃんと提出できているかな。」「部活動命の人は大丈夫かな。」「昼夜逆転していないだろうか。」「勉強しているかな。」「いろいろ心配しているだろうな。」…。

去年は谷原中のみなさんと過ごすことができる大切な最後の年だったのに、3月まで授業ができず本当に心残りです。3年生のみんなには、「来年は君たちが谷原中を引っ張るんだよ。」「授業は生徒も一緒に作るものだ。授業評価はオールAで当然！」「提出物遅れなんてとんでもない！」「自分の役割の重要性を考えて責任をもって仕事をしなさい。」といっぱいハッパをかけて最高学年に送り出すつもりだったのに…。

でもきっとみんなは、そんなことを言われなくても自分たちの役割をちゃんと分っていて、きちんと3年生、2年生の姿になっているんだろうと思います。谷原中の生徒は素直さと頑張る気持ちのある伸びる子たちですから。

もう一つ心残りなのは、去年「さようなら」と「ありがとう」が言えず、黙って去ってしまったことです。教師は生徒に教えるのが仕事ですが、実は生徒から本当にたくさんのことを教わりながら日々過ごしています。谷原中のみんなからは、楽しく毎日と、たくさんの教えるヒントをもらいました。みんなから教わった大切なことを、今度は南が丘中の生徒たちに返していきたいと思います。

谷原中の先生方のご配慮で、お手紙を書くこの機会をいただけて良かったです。

谷原中のみなさん、本当に楽しかったです。ありがとう。

これからも素晴らしい谷原中学校を君たちの手で作ってください。

さようなら。

練馬区立南が丘中学校
美術科 中山 貴子

2年間お世話になり、ありがとうございました。

今年は、新型コロナウイルス禍の影響で入学式も始業式もないままのスタートとなりました。

谷原中学校のみなさんはお元気ですか。

2年前、谷原中学校に着任して驚いたのは校庭に「あずま屋」があることでした。緑に恵まれた谷原中のみなさんは元気で明るく、のびのびした生徒さんたちばかりで、毎日学校に来るのが楽しみでした。

2年前に入学したF組のみなさんの卒業を見送りたいと願っておりましたが、私の方が一年早い卒業となってしまいました。

どこにいても谷原中学校の皆様方の健康とご活躍をお祈りいたしております。

練馬区立光が丘第二中学校
学校生活支援員 松岡 佐恵子

《不安な気持ちを乗り越えて》

新型コロナウイルス感染症の影響で日常生活が大きく変化した5ヶ月でした。いろいろなものが制限・縮小・中止されてきました。しかし、視点を変えて見れば、置かれている条件は皆同じです。不安や心配な気持ちを払い除けることができるのは、互いを結ぶ強い絆です。なかなか出口が見えてきませんが、“明けない夜はない”ことを信じて一步一步進んで行きましょう。



谷原中学校の皆さん、こんにちは。長い休校が明け、いよいよ本格的に授業が始まりました。私はこの4月から墨田区立吾嬬立花中学校に赴任しました。墨田区は母親の実家があり、幼い頃から慣れ親しんだ場所で、前年に転出された池端先生がお隣の中学校にいらっしゃり、不思議なご縁を感じています。

入学してから2年間をともに過ごした皆さんと進路の決定に臨む3年生を前に心ならずもお別れしなくてはならないこととなってしまい、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。4月に新しい学校で仕事をしながら、今谷原中のみんなはどうしているだろうと考え思わず涙ぐんでしまいました。マスクと眼鏡で誰にも気付かれませんでした。本来なら直接皆さん一人一人にお別れを言いたいと思っていたのですが、3月3日から始まった休校とその後の緊急事態宣言の延長で、直接離任式でお別れする機会が失われてしまいました。こんなことになるのなら、4月の休業中に、谷原中学校の分散登校日に合わせて皆さんに会いに行けばよかった！と少し後悔しています。

3年間という短い期間でしたが、素晴らしい先生方のご指導をいただきながら保護者の皆様と地域の方々を支えられ、生徒の皆さんが力を合わせて作り上げてきた谷原中学校は、もっともっと一緒に頑張っていきたいと心から思える本当に素晴らしい学校でした。事態が収束に向かい、皆さんとお会いできる日が来ることを願っています。心の中で皆さんの活躍を応援しています。授業が少なくなり、進路に向けて大変なことが多いと思いますが、3年生の皆さんが最高学年として受け継いだ谷原中の底力を発揮し、一人一人が自分の希望する進路に進んで行けるよう祈っています。「すべてをあと1点のために！」健闘を祈ります。

墨田区立吾嬬立花中学校
国語科 名倉 隆雄

大学を卒業し、初めての教育現場を谷原中学校で非常勤講師として1年間勤務させていただきました。大変お世話になりました。

初めての講師経験に戸惑うことが多く、あまり思うようにはいかず、生徒のみなさんにも大変ご迷惑をおかけしました。しかし、そんな拙い私の授業に対して、決して嫌な顔一つ見せず集中して取り組んでくれました。おまけに「歴史の授業が好きになった！」「先生のおかげでテストの点が取れるようになった！」など、嬉しい反応もいただきました。私も安心して授業に臨むことができました。

今年は高校生の世界史を担当しています。谷原中学校で過ごした日々を糧に、これからも邁進していきます。生徒のみなさんも自分の目標に向かって努力を重ねてください、応援しています。

社会科 非常勤講師
米須 圭杜

【夏季休業中の予定】 (8/1~23)

日	曜	おもな予定
1	土	夏季休業日(始)
3	月	3年生 教育相談(始)
10	月	『山の日』
11	火	<学校閉庁日(始)>
14	金	<学校閉庁日(終)>
21	金	◇諸会議
23	日	夏季休業日(終)

【2学期はじめの予定】 (8/24~31)

日	曜	おもな予定
24	月	始業式 あいさつ運動(1年、安全指導 重点青掃)
25	火	
26	水	
27	木	My Step Up Room ◆3年生内科検診
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	あいさつ運動(2年)